

小学2年学童期検査の際にお子さんの採血にご協力いただいた皆さまへ

感染症対策研究に血液を 使わせていただくことへのご協力をお願い

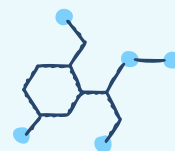


いつもエコチル調査にご協力いただき、ありがとうございます。この文書では、これまでにご提供いただいているお子さんの血液と情報を新たな研究に利用させていただきますことへのお願いをいたします。

エコチル調査愛知ユニットセンターでは、小学2年学童期検査の際に、別途ご同意いただけた方を対象に、ユニットセンター独自にお子さんからの採血を行いました。その際に、得られた血液を以下の目的で使用すること等をご説明しました。

血液の使用目的

- B型肝炎ウイルス検査
- 生化学的検査
- 簡単な貧血検査
- 化学物質による健康影響のあらわれ方などに関わる遺伝子の解析
- 重金属、残留性有機化合物類、ホルモンなどの分析



このたび、新たな研究として、感染症にかかった際にどういう方が重症になるかの検討や、新しいワクチンの開発(効果や副反応の検討を含む)などの感染症対策につなげていくことを目的に、血液の「オミックス解析」を実施することになりました。この解析では、血液に含まれる細胞[*]のなかの様々な目印(遺伝子や細胞内の物質[**]の種類・量)を総合的に調べ、一人ひとりの体の状態を分析します。ご承諾くださいますようよろしくお願いいたします。

[*]赤血球や白血球などです。

[**]タンパク質や代謝産物などです。代謝産物とは、体内で栄養素や物質が化学変化を起こし、エネルギーを得たり体を作る材料にしたりする一連のプロセスで作られる物質です。



この研究は、東京大学と国立成育医療研究センターと共同で実施します。東京大学、国立成育医療研究センターには、氏名・住所などの情報は伝えず、誰のものか完全にわからないようにしてお子さんの血液、身長・体重・性別などの情報を研究で使います。

なお、今回の研究で使用するお子さんの血液や情報は、名古屋市立大学で保管されているものを使うため、みなさまに新たなご負担をおかけすることはありません。今回の研究では、新たな謝礼のお支払いもありません。また、個別のオミックス解析の結果もお伝えできません。もし、今回のオミックス解析の研究にご協力いただけない場合は、エコチル調査愛知ユニットセンターまでご連絡ください。

連絡先



エコチル調査愛知ユニットセンター事務局

- 担当者 伊藤 由起・平岡 大樹
- 電話番号 フリーダイヤル 0120-758-526(平日9:00-17:00)
- 住所 〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄1
名古屋市立大学大学院医学研究科脳科学研究所6階



Q and A

Q.想定している感染症は何？

Answer

基本的には今後、新しく出現する感染症を想定しています。現段階では未知の感染症が、将来、大流行することに備えるためです。

また、昔からよく知られている感染症も研究の対象です。現代ではほとんどかかっている人がいない感染症や、地球上の限られた地域の人が集中的にかかっている感染症、何度も流行を繰り返す感染症についても、今のうちから対策をとっておく必要があります。



Q.血液を調べることが、どうやってワクチンの開発につながるの？

Answer

血液を調べることですぐにワクチンを開発できるわけではありませんが、今回の研究は、ワクチン開発のための準備として非常に重要です。

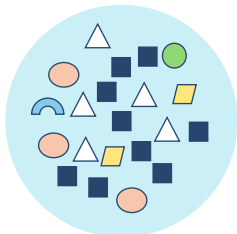
たとえば、新しい感染症Xのワクチン開発をするときには、感染症Xについて、重症化しやすい人、ワクチンの効果が現れやすい人、ワクチンの副反応が出やすい人を対象の体の状態などを調べるのが重要になります。

仮に、感染症Xの試作段階ワクチンをCさんに試したとき、感染症Xに対する強い予防効果が確認されたとします。そこで、研究者はCさんの血液のオミックス解析をして、試作段階ワクチンの効果が現れやすい人には、体の状態を表す目印にどのような特徴があるか調べようとします。ですが、Cさん一人の目印だけでは、試作段階ワクチンの効果が現れやすい人の特徴はわからないので、たくさんの人の血液と比較する必要があります。そのため、今回の研究で、あらかじめ日本に住んでいるたくさんの人の血液を調べておきます。

今回の研究

たくさんの人の血を調べる

Aさんの“目印”たち



Aさん

Bさんの“目印”たち



Bさん

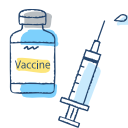
将来の研究の例

ワクチンの効果が出やすい人の特徴を調べる



Cさんの保護者

Cさんのワクチン接種を見守った

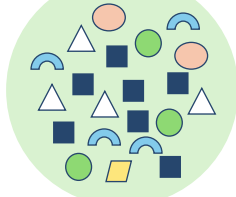


Cさん

試作段階ワクチンが強い予防効果

今回の研究で調べておいた
たくさんの人の血と比べる。

Cさんの“目印”たち



Q. なぜ子どもの血液を調べるの？

Answer

体の状態を示す目印の特徴は一人ひとり異なります。それだけでなく、人々を大人集団と子ども集団に分けると、集団ごとに異なった目印の特徴が現れます。たとえば、【大人集団は●目印がたくさんある人が多い】一方で、【子ども集団は△目印がたくさんある人が多い】、のようなイメージです。そのため、子どもの血液を調べることは、子どもにも合ったワクチンを作るためにとても大切なことです。

大人集団 ▶▶ ●がたくさんある人が多い

子ども集団 ▶▶ △がたくさんある人が多い



Q. 自分の子どもの血液を調べた結果を知ることができないのはなぜ？

Answer

どのような目印をどの程度持っているかが明らかになったとしても、それが一人ひとりの体質の特徴を必ずしも明確に表すわけではなく、お子さんの健康に役立つ情報とはいえないからです。

Q. 今回の感染症対策のための研究では、愛知のエコチル調査に参加している子どもの血液だけを調べるの？

Answer

いいえ。子どもは、今のところ国立成育医療研究センターの成育母子コホート研究の参加者の血液も調べることになっています。加えて、東京大学が大人の血液も調べています。

